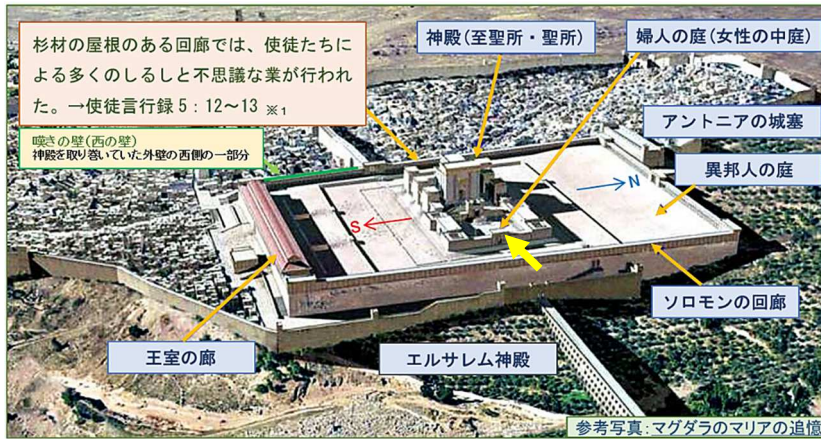


## 112 生まれつきの盲人をいやす(1)

ヨハネによる福音書 9 : 1~12

..... 仮庵祭の7日目のこと (十字架にかかる前の年、半年前の仮庵祭) .....

01 さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。



→使徒言行録 3 : 2

すると、生まれながら足の不自由な男が運ばれて来た。

神殿の境内に入る人に施しを乞う(ことを行いやすい)ため、毎日「美しい門」(左図婦人の庭前の黄色矢印)という神殿の門のそばに置いてもらっていたのである。

→美しい門

=口語訳：美(うつく)しの門

02 弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」

→当時、ユダヤ人たちは、盲目の人は本人や両親の罪のために神に罰せられていると信じられていた。

03 イエスはお答えになった。

「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。」

04 わたしたちは、わたしをお遣わしになった方の業を、まだ日のあるうち (→公生涯の期間中) に行わねばならない。だれも働くことのできない夜 (→十字架の死) が来る。

05 わたしは、世にいる間、世の光である。」

→(リビング・バイブル)「いや、そのどちらでもありません。ただ神の力が現されるためです。わたしたちは、わたしをお遣わしになった方に命じられた仕事を、急いでやり遂げなければなりません。もうすぐ夜が来ます。そうしたら、もう仕事はできないのですから。しかし、まだこの世にわたしがいる間は、わたしが光となります。」

06 こう言うってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。

→唾：神(主)の口から出るもの(マタイ 4:4)として、霊であり命である主の言葉を象徴します(6:63)。

→セルマン・エイブラハム・ワクスマン(アメリカ合衆国の生化学者、微生物学者で、東ヨーロッパに位置する共和制国ウクライナ出身のユダヤ人)はこの聖句からヒントを得て、結核の治療に用いられた最初の抗生物質ストレプトマイシン Streptomycin(伝染病治療に広く適用)を作ったと言われている。

07 そして、「シロアム——『遣わされた者』という意味——の池に行って洗いなさい」と言われた。

そこで、彼は(命を与える主の言葉に従い)行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。

→洗いなさい：泥を洗い落とすことで、バプテスマで経験したように、私たちの古い人性を洗い落とし去ることを象徴しています(ローマ 6:3、4、6)。

→シロアムの池は、ヒゼキア王の時代(在位：BC716/715~687)にエルサレムの城壁の内側に造られた貯水池で、仮庵祭の間は、「水取りの儀式」が行われます。

イエス時代には、「仮庵の祭り」(7日間)では、毎日「水取りの儀式」がシロアムの池で行なわれます。大祭司がきれいな衣を着て金の杓子(黄金の器)をもってシロアムの池から水を汲み、それをエルサレム

神殿にまで運びます。その時に、イザヤ書 12：3 を歌いながら、神殿までその水を運ぶ行列をします。そして、神殿の祭壇の回りを一度回り、水を祭壇のそばに置かれた容器に注ぐのです。最後の7日目（ヨハネによる福音書 7：37 祭が最も盛大に祝われる終わりの日）には、神殿の祭壇の回りを7度回り、水を容器に注ぎます。→この日（乾季から雨季へ移行）から、雨乞いの祈りが始まる。→仮庵祭に朗読される聖書箇所 ゼカリヤ書 14：1～21、エゼキエル書 47：1～23  
→参照：ファイル No.106

08 近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。

09 「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「わたしがそうなのです」と言った。

10 そこで人々が、「では、お前の目はどのようにして開いたのか」と言うと、

11 彼は答えた。「イエスという方が、土をこねて（→捏ねる：土などに水を混ぜて固まるほどに練る）わたしの目に塗り、『シロアムに行って洗いなさい』と言われました。そこで、（シロアムの池に）行って洗ったら、見えるようになったのです。」

12 人々が「その人はどこにいるのか」と言うと、彼は「（今まで、目が見えず、一度もその人を見た事もないので）知りません」と言った。

→ベトザタの池で病人をいやす（ヨハネによる福音書 5：1～18）

**【参考】ヒゼキヤのトンネル**

歴代誌下 32：30

上の方にある「ギホン」の湧き水をせき止め、ダビデの町の西側に向かって流れ下るようにしたのも、このヒゼキヤであった。ヒゼキヤはそのすべての事業を成し遂げた。

BC700 年頃、アッシリアの脅威にさらされたヒゼキヤ王は、敵から水源を守るため、城壁の外にあったエルサレムの水源「ギホンの泉」から、岩盤をくり貫いて地下トンネルを掘り、城内のシロアムの池まで水を引きました。

これが、ヒゼキヤのトンネルです。（列王記下 20：20）。シロアム碑文（シロアム碑文、シルワーン碑文、イスタンブール考古学博物館）は、ギホンの泉からシロアムの池へ水を運ぶためのシロアム・トンネルで発見された碑文で、トンネルの建設を記録している。

